

平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

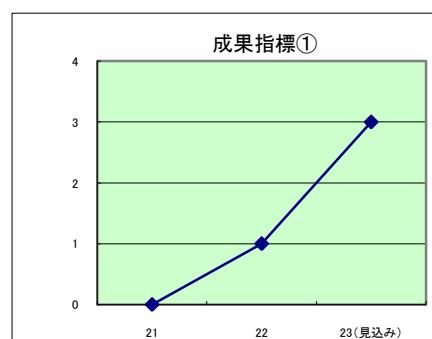
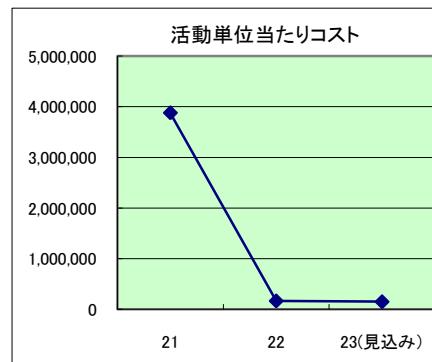
整理番号

都都05

事務事業名	地区計画策定検討事業			予算科目	会計	1	一般会計		
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち			款	8	土木費	
	施策(節)	7	土地利用・市街地整備			項	4	都市計画費	
	施策の方向	(2)	良好な市街地の形成			目	4	都市整備推進費	
	関連する計画等	羽曳野市都市計画マスターplan			事業				
事業の目的	対象(誰を・何を)			作成部署	都市開発部都市計画課				
事業の目的	羽曳野市全域			連絡先	072-958-1111 内線 2571				
意図(どういう状態にしたいのか)	区域の特性にふさわしい街並みを計画的に誘導する。								
事業の内容	まちづくりの基本的な方針を示した都市計画マスターplanを着実に推進し、計画的にまちづくりを進めていくために、地区計画制度の活用を進める。 ・関係者の合意のもとに地区の開発及び保全の方針を作成する。 ・建築行為等(建築物等の用途、壁面の位置、建築物等の高さ・意匠、かき又はさくの構造)の制限を定める。 (平成22年度) 大阪府関係課との協議・調整 (都市計画決定) 塩生野地区地区計画の変更								
根拠法令等	都市計画法、市街化調整区域における地区計画のガイドライン(大阪府)								
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 9 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている				終了年度	平成 年度			
事業開始時からの状況変化	平成18年5月に都市計画法改正により、市街化調整区域における開発許可規定が廃止され、市街化調整区域での土地利用には地区計画が必要となる。								
市民や議会の要望									
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()								
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他				委託内容				

区分		21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		143	271	1,117
人件費【2】 (千円)		15,375	16,560	13,968
職員数	正規職員	2.05 人	2.30 人	1.94 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		15,518	16,831	15,085
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	15,518	16,831	15,085
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		21年度	22年度	23年度(見込み)
① 協議・調整回数 回		4	101	100
② 検討地区数 地区		4	4	4
③				
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①) 3,879,500 円		166,644 円	150,850 円	
市民1人当たりコスト(【A】/人口) 130 円		143 円	128 円	

成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度				
	①	都市計画決定件数 (式)		目標 実績	0	4	達成率(%) 25.0%	3				
					0	1						
	②	(式)		目標 実績			達成率(%)					



市の 関与の 必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	都市の整備、開発その他都市計画の遂行には、行政の関与が必要である。
	○										

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区全体の土地利用、地区施設整備及び建築物等の整備について誘導するためには、妥当な手段である。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪府等関係機関との調整・協議に最低限必要な人員を投入しているため、適正であると考える。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	良好な住環境への誘導を図ることが可能となる。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地元や地権者と協働して進める。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 地区（埴生野地区）については変更決定を行えたが、他の地区については、協議・調整を行ったが、都市計画決定までいたっていない。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
評価の理由	地域住民との合意のもとで地区毎の特性に応じたきめ細かい計画により、特色のある住みよいまちづくりが進められる。今後、地区計画の検討が増加することが予想されるので、適切な運用を図るため、市の運用基準を定める必要がある。
今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	地区計画の運用基準を定め、地区計画制度を適切に運用しながら地域にあったまちづくりの形成を図る。